

公立学校共済組合岩手支部保健事業検討会（第1回）会議録

1 日 時 平成29年8月25日（金）15時00分～17時00分

2 場 所 サンセール盛岡 福来（南）

3 出席者

小野寺 健 岩手県高等学校教職員組合 書記次長
小 菅 浩 一 岩手県公立学校事務長会 理事
近 藤 澄 江 岩手県小中学校副校長会 総務部長
佐 藤 工 岩手県教職員組合 書記次長
藤 元 衛 岩手県教育委員会事務局職員組合 副中央執行委員長
村上 智加子 岩手県高等学校教職員組合 女性部長
清 川 智 子 公立学校共済組合岩手支部 事務局長
工 藤 善 彦 公立学校共済組合岩手支部 特命課長
（ほか支部職員7名）

4 会議次第

- (1) 開会及び事務局長挨拶
- (2) 事務局説明
- (3) 質疑
- (4) 閉会

5 会議録（要旨）

- (1) 開会及び事務局長挨拶

本日の進行を務めさせていただくので、よろしくお願ひしたい。

日頃より厚生福利事業、共済組合事業へのご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

検討会のメンバーとして、名簿のとおり組合員の代表として10名の方にお引き受けいただき、感謝申し上げます。

ご推薦いただいた団体は、共済組合運営審議会委員、監査員を出していただいている団体に加え、今回は事務長会からもご推薦いただいた。

本日は、お忙しい中6名の御出席をいただいている。

検討会に先立ち、自己紹介でお願いしたい。

さて、共済組合本部では、おおむね5年ごとに保健事業の在り方についての検討委員会を設置しており、そこでの検討を経て、今年6月29日に新たな「保健事業実施に関するガイドライン」が制定された。

本日の検討会は、そのガイドラインに基づき、支部においても検討の場を設けることとされており、平成23年度以来の開催となる。

検討会に先立ち、共済組合について簡単に説明する。

共済組合は、法律に基づき設置されており、本部が東京にあり、各都道府県教育委員会に支部がある。

岩手支部の7月現在の組合員数は12,629人、被扶養者は11,110人となっている。

組合員の男女比は、ほぼ半々となっている。

組合員は、減少傾向にあり、当分続くと予想されている。

共済組合事業についてであるが、国民健康保険や協会けんぽ、健康保険組合などと同様に共済組合は医療保険者としての役割を担うこととなる。

実施事業としては、医療費給付を中心とする短期給付事業、退職後の共済年金給付に係る長期給付事業、福祉事業として貸付事業、サンセール盛岡などの宿泊事業、直営病院の医療事業、この検討会のテーマである保健事業となっている。

財源は組合員の掛金と都道府県の負担金が主に充てられている。

医療費給付や年金給付は本部主導で全国統一的に制度運用していくものであるが、保健事業は本部の方針に沿いながらも各県支部の事情を考慮した事業を計画実施していくこととされており、この検討会を通して、組合員のニーズを反映した効果的なより良い事業を組み立てていきたいと考える。

皆様には共済事業に対して日ごろ感じていることや率直なご意見を頂戴できればと思うので、よろしくお願ひしたい。

開催予定回数は、8月、9月、10月の3回を予定しており、第1回は事務局からの説明が中心になる。

資料1により、本部制定ガイドラインの概要説明、資料2によりガイドラインと現行事業との比較と本県の課題について、資料3により現状と課題を踏まえたたき台となる事業の見直し案、資料4から6については、参考資料となる。

第2回は本日説明する現状と課題、たき台の案について、意見交換を行っていただき、事務局案に対する追加修正、第2期データヘルス計画策定等にご意見を願ひしたい。

第3回は第1回・第2回のご意見を踏まえ、方向性や事業案に修正を加え事務局より提示させていただき、平成30年2月に開催される支部運営審議会に、検討会での意見を報告するとともに、ご意見を踏まえた事業案、予算案を諮りたい。

(2) 事務局説明

添付資料により説明

〈資料No.3「保健事業見直しに係る支部案」口頭補足事項〉

- 資料No.3の支部案については参考提案であり、こうしてほしいというものではなく、ご意見をいただきながら、よりよい事業の検討を進めていきたい。

1 人間ドックについて

- 人間ドックを定期健康診断に代える場合、定期健康診断相当分の費用を共済組合から事業主に負担を求める案は、まず県からの費用負担に向けて調整し、いずれは市町村へも負担を願ひしたいと考えている。

- ・ 指定年齢人間ドックの対象年齢案の35歳は、本部の保健事業検討委員会において、35歳あたりに実施してはという意見があったことを受け、参考としたもの。
 なお、指定年齢人間ドック対象者へは、年度当初に受診券を送付することから、本人からの申し込みは不要とする。
- 2 定期健康診断付加健診について
 - ・ 提案したロックス・インデックス検査は、採血により脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する新しい検査方法であり、全国で導入している医療機関は少なく、岩手県内でも2か所しか実施していない。
 発症リスクが高い場合でも、生活習慣の改善により予防につなげることができ、併せて、生活習慣の改善が他の疾病予防にもつながると考えている。
 新しい検査であり、あくまでも発症リスクを調べる検査であることから、導入の可否も含めご意見をお願いしたい。
- 3 腹部超音波検査について
 - ・ 1日人間ドック相当により近づけるため、検査項目追加を検討するもの。
 - ・ 自己負担なしとした場合の費用支部負担増は、C型肝炎ウイルス検査対象者の見直しにより予算を捻出し、充当を考えている。
- 4 特定健診・特定保健指導について
 - ・ 実施率向上のため平成29年度より「学校訪問型特定保健指導」を導入する。
 委託先の保健師等が各所属へ訪問し、生活習慣リスクの高い方を対象に個人ごとに面談を実施する方法であり、希望者の取りまとめや業者との日程調整など、各所属担当者に新たにご負担をかけることとなるが、ご理解いただきご協力をお願いしたい。

(3) 質疑

ア 人間ドック受診者は、その結果の提出をもって、定期健康診断に代えることについて

【委員より】

定期健康診断は毎年5月頃から受診、人間ドックはその後の受診決定となっているが、時期を前倒して人間ドックの結果を生かすことはできないか。

【事務局より】

今の段階では人間ドックの受診決定に時間がかかるため、7月から1月を実施対象期間に考えている。

【委員より】

人間ドックの結果の提出をもって定期健康診断に代えるためには、人間ドックの受診決定が早くわからなければならないのではないか。

【事務局より】

その点については検討する。

イ C型肝炎ウイルス検査対象者の見直しについて

【委員より】

対象者を40歳のみに変更し、数年後に廃止するとはどういうことか。

【事務局より】

もし、35歳での指定年齢人間ドックが導入できれば、その人間ドックにC型肝炎ウイルス検査が含まれることから、35歳で人間ドックを受診した方が40歳になるまでに廃止する方向である。

ウ 特定保健指導の学校訪問所属一括型及び個別調整型への変更について

【委員より】

学校訪問所属一括型とは委託業者の学校訪問が1回だけとなるのか。

【事務局より】

学校訪問による面談は1回だけとし、その後はメールや電話により委託業者が6箇月間支援し、その結果が出て終了となる。

エ 平成29年度からサンセール盛岡への繰入金の原則取り止めについて

【委員より】

サンセール盛岡への繰入金が無くなっても、営業を継続することは可能か。

【事務局より】

平成25～26年度は運営資金として繰入したが、平成27～28年度は耐震工事の資金として繰入した。

本部からは運営資金として繰入せずに自助努力で施設が頑張らなければならないとの指導がある。

【委員より】

サンセール盛岡の営業が継続できないと組合員も困るので、頑張ってください。

オ ストレスチェックの項目について

【委員より】

ストレスチェックの項目が他県と異なっているようであるが、問題は無いか。

【事務局より】

本県のストレスチェックは厚生労働省が示している項目をそのまま使用している。

カ 保健事業の見直し時期について

【委員より】

事業内容の見直しはいつから実施するのか。

【事務局より】

来年度予算に反映できるものは、見直ししていきたい。

キ 35歳指定年齢人間ドックの導入について

【委員より】

35歳は免許更新の年齢であり、夏休み等の受診は難しいのではないか。

【事務局より】

指定年齢を何歳にするかについては検討する。

(4) 閉会

【事務局長より】

本日説明した内容や資料をご覧ください、次回の意見交換、事務局作成案についての修正にご意見をいただきたい。

次回は平成29年9月25日（月）15時00分から17時00分までを予定している。

今回の内容は欠席された方々にもお伝えする。

→ その後、第2回保健事業検討委員会は次のとおり日程変更となった。（出席者には別途通知済みであること。）

第2回 平成29年9月25日（月）14時00分から17時00分まで